

道縦貫自動車道 用地取得始まる

名寄市議会
一般質問

【名寄】第1回定例市議会は13日午後、3氏が一般質問を行った。

川口京二氏（無所属の会）は道縦貫自動車道十別剣淵―名寄IC間の進ちよく、開通後の地域影響を質問した。

中村勝己総務部長は「道開発局によると、本年度から用地取得の手続きを進め、風連別川の橋脚工事は着工している。今後は用地取得を進め、効率的に整備工事を行う。開通時期は公表していない」と述べ、道の駅集客の

影響に「データを持っているが、本年度、道の駅でアンケートを実施している。年度末に集約し、分析、研究していく」と答えた。
佐久間誠氏（市民連合・凜風会）は、市内橋りょうの点検状況、通行規制中の18線橋架

け替えの考え方を質問。

天野信二建設水道部長は「2014年度から近接目視点検を始め、18年度までに244橋を一巡する。これまで実施した220橋のうち、緊急措置判定

置判定は6橋あり、補修を基本に定期的な経過観察を行い、管理していく」と答えた。18線橋のあり方に「重要な路線と認識しているが、架け替えとなると多額の費用がかかる。年度内に詳細な点検結果が出るため、再度方針立てをする」と理解を求めた。

同氏は骨格編成となった新年度予算について、市長選後の補正規模をただし、中村総務部長は「新市長の査定によるが、事業費ベースで2―3億円」と説明。同氏は、高齢者の運転免許自主返納の促進でタクシー券の配布を求め、三島裕二市民部長は「1000円の運転経歴証明書の申請費用助成を市交通安全推進委員会として取り組む」と答えた。

佐々木寿氏（市政クラブ）は、市総合戦略に関し、観光庁の日本